

WEHノズルTK17 H2 35MPa

取扱説明書

2017年6月

III 株式会社 **ハマイ**

No. 2037-①

目次

	ページ
1. 製品の概要	2
2. 製品の仕様	2
3. 安全上の注意	3
4. 各部の名前及び設置	4
5. 取扱い方法	5
6. トラブルシューティング	6
7. メンテナンスについて	8
8. お問い合わせ	8

1. 製品の概要

WEHノズルTK17（以下「製品」と呼ぶ）は、圧縮水素燃料自動車用の水素ステーションで車輛に充填する設備の一部として使用されるディスペンサーに設置され、圧縮水素燃料自動車の充填口に接続して圧縮水素の充填を行う為の機器です。

2. 製品の仕様

適用基準	: 高圧ガス保安法一般高圧ガス保安規則
設計圧力	: 39 MPa
設計温度	: -20～+85℃
常用温度	: +5～+40℃
使用ガス	: 可燃性ガス（水素ガス）
接続形状	: （高圧ホース側） 7/16-20UNF （レセプタクル側） SAE J2600 H35
制限事項	: ①充填回数10万回を超える継続使用はできません ②充填回数2万回又は3年の使用の何れか早い段階で全てのシール部品の交換が必要です

3. 安全上の注意

ご使用前に、「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■「1. 製品の概要」や「2. 製品の仕様」に示す用途以外には使用しないで下さい。

■製品に認められた損傷、及び正常に機能しているか否かに関する疑問がある場合は、その要因等が明確になるまで使用しないで下さい。

注) 要因等の確認のために分解しないで下さい。

■車両の燃料補給口（レセプタクル）にノズルを取り付けた状態で車両が発進しディスペンサーから離れてしまった場合、燃料補給口（レセプタクル）や高圧ホースの損傷が懸念されますので、使用されている燃料補給口（レセプタクル）及び高圧ホースの取扱い方法に従って安全を確認してください。ノズルについては損傷有無の点検が必要ですので、直ちに使用を中止して販売元にご相談ください。

注) 損傷有無の点検をせずに継続使用した場合、重大な事故に繋がる恐れがありますので、必ず販売元にご相談の上安全を確認して下さい。

■車両の燃料補給口（レセプタクル）にノズルを取付ける際には過大な力を加えないで下さい。

■危険な操作状況が想定される場合、適切な安全対策を講じた上でご使用ください。

■車両の燃料補給口（レセプタクル）へのノズル脱着は正しい手順に基づき確実に操作してください。

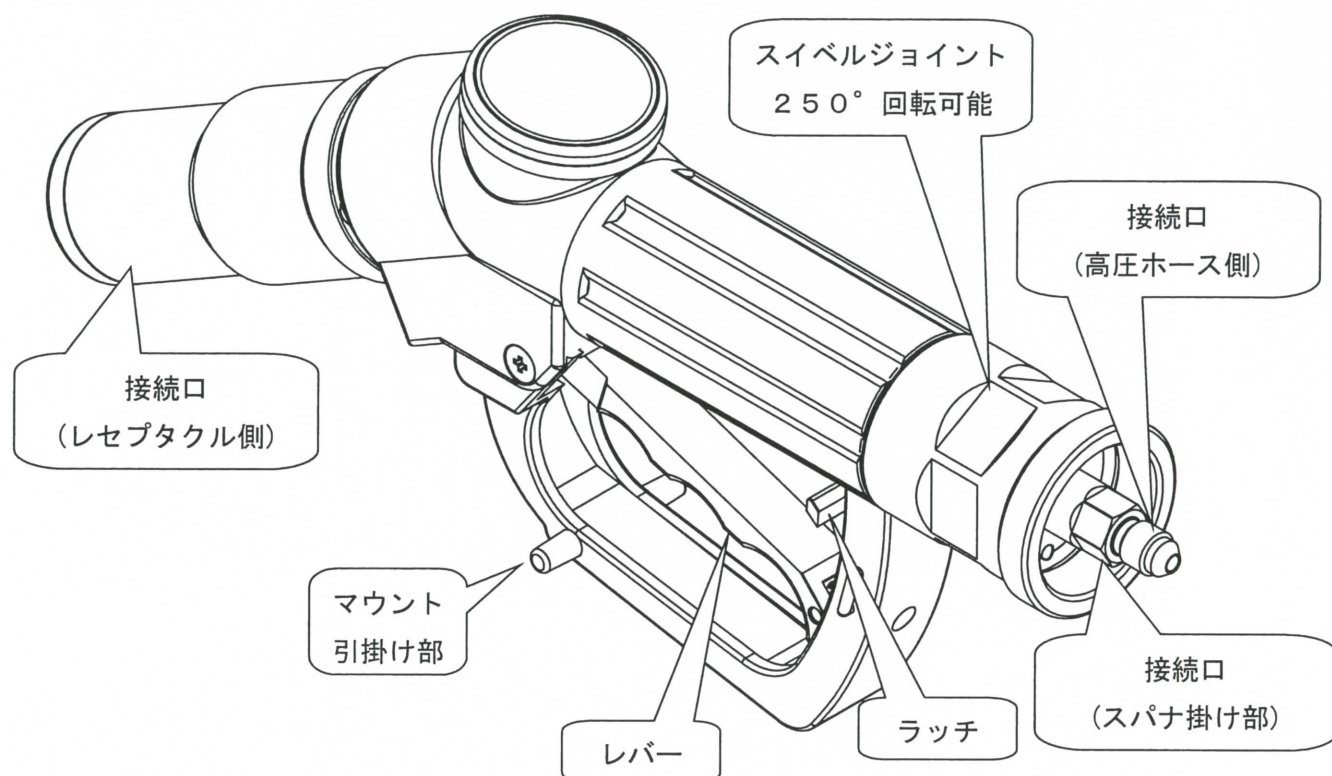
注) 正しい手順で脱着が実施されない場合、充填中のガス漏れ、ノズルの脱落や重大な事故に繋がる恐れがありますので、確実な操作をお願いします。

■予備品として製品をお持ちの場合、製品に損傷を与えず、塵埃の進入を防止し、高温環境とならないなど保管状態にはご注意願います。

注) 不適切な保管が為された製品は本来の機能・性能を発揮できない恐れがあるのと同時に危険な状態に陥る恐れもありますので、ご注意下さい。

4. 各部の名前及び設置

製品を使用する際は、「各部の名前」とともに注意していただくことをお知らせしています。「5. 取扱い方法」と合わせてお読みください。



製品をディスペンサーに設置する際には、接続口（高圧ホース側）のねじ部「7/16-20UNF」に高圧ホースの継手をしっかりと接続してください。この接続口への締付は20N・mを超えない範囲で行ってください。また、締付の際には接続口の根元部に設けられているスパナ掛け部を用いて部品に回転力が伝わらない様に行ってください。

高圧ホース接続後、接続部における気密確認を確実に実施するとともに、製品の操作に支障が無いことを確認して下さい。

製品の操作に関しては、「5. 取扱い方法」を参照下さい。

注) 気密性や操作への影響有無の確認を行わず運用を開始した場合、充填中のガス漏れや重大な事故に繋がる恐れがありますので、ご注意下さい。

5. 取扱い方法

製品の取扱いは、「取扱い方法」をよくお読みの上、正しくお使いください。

摩耗、損傷並びに誤操作を避け安全にご使用頂いただく為に、ご使用の都度、点検又は確認してください。「6. トラブルシューティング」と合わせてお読みください。

- ノズルをディスペンサーから持ち上げ、ノズルを車両の燃料補給口（レセプタクル）に真っ直ぐに奥まで差込んで下さい。

注）奥まで差し込まないとロック状態にならない場合がありますので、ご注意下さい。

注）レセプタクルに対しハンドルが真下の角度になり、ホースに負荷が掛かり難い様扱い取付け作業を行って下さい。

- レバーを軽く引き、最後まで握るとレバーがラッチに掛かりロック状態となります。レバーを容易に引くことが出来ない場合は車両の燃料補給口（レセプタクル）から一度取り外して最初から操作して下さい。

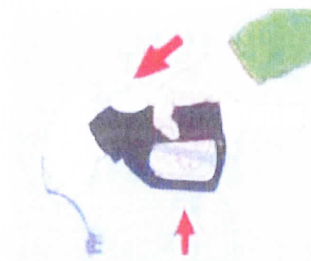
注）ロック状態とならない場合は充填中のガス漏れや重大な事故に繋がる恐れがありますので充填行為をしないで下さい。

- ノズルが車両の燃料補給口（レセプタクル）に確実に接続され、ロック状態となった場合は充填の準備が整ったことを示しますので、ディスペンサーの取扱い要領に従い充填を開始して下さい。

注）ロック状態にした後、ノズルを後方へ数回引張り、確実な接続状態であることを確認して下さい。

- 充填終了後、ディスペンサーからの加圧が停止し、ノズル及び高圧ホースの脱圧が完全に為されたことを確認して下さい。脱圧確認後、ラッチを製品に表示されている矢印方向に操作することでレバーが戻りロックを解除できます。ロック解除後、ノズルを車両の燃料補給口（レセプタクル）から引き抜き、ノズルをディスペンサーの所定の位置に格納して下さい。

注）脱圧が完全でない時にロックを解除してノズルを持ち上げるとガス漏れや重大な事故に繋がる恐れがありますので、ご注意下さい。



6. トラブルシューティング

製品を安全にご使用いただく為、「トラブルシューティング」をよくお読みの上、ご使用の状況、環境、頻度等を考慮し正しくお使いください。

現象		考えられる原因	対処方法
1	ノズルがレセプタクルに装着できない	ノズル接続口やレセプタクルに塵埃等の異物が付着している	目視検査により塵埃等の異物が確認された際には、防塵製の布などで拭き取って下さい 注) 溶剤は使用しないで下さい
		ノズル接続口に有害なバリ等が生じている	目視検査により有害なバリ等が確認された際には、樹脂製の適切な道具で取り除いて下さい。 注) 先の尖った道具、或いは金属製の道具は使用しないで下さい
		ノズルを傾けて装着している	レセプタクルに対して真っ直ぐに奥まで押し込んで下さい
		ノズル接続口が凍結している	常温下で凍結部品を解かしてからお使い下さい 注) 解氷剤、ドライヤー、お湯は使わないで下さい
		ノズルのレバーが操作され「ロック」の状態となっている	レセプタクルに装着する際は「ロック解除」の状態でなければなりませんので、「5. 取扱い方法」を参照の上正しくお使い下さい
		ノズルに加圧されている	加圧状態ではレセプタクルに装着できませんので、完全に脱圧してから「5. 取扱い方法」を参照の上正しくお使い下さい
		ノズルのレバーが「ロック」の状態にならない	しっかり最後まで握ってラッチの動きを確認して下さい。 注) 最後まで握ってもラッチが引っ掛からず「ロック」状態とならない場合には、適切なメンテナンスを実施して下さい。 注) メンテナンスについては販売元にご相談下さい。
		レセプタクルの保護キャップが装着したまま	保護キャップを取り外してからお使い下さい

現象		考えられる原因	対処方法
2	車輻に充填できない、又は充填が中断する	レセプタクルへの接続が不完全、又はレバーが「ロック」状態になっていない	「5. 取扱い方法」を参照の上正しくお使い下さい
3	充填終了後、ノズルがレセプタクルから取り外せない	ノズル接続口が凍結している	常温下で凍結部品を解かしてからお使い下さい 注) 解氷剤、ドライヤー、お湯は使わないで下さい
		脱圧が不完全	ノズルの脱圧を完全に行ってください。 注) 脱圧が完全ではない状態で無理矢理取り外すと重大な事故に繋がる恐れがありますので、確実に脱圧が為されてから操作して下さい
		ラッチの動きが悪い、又は、ラッチを操作してもレバーが「ロック解除」状態とならない	ラッチの動きが悪い場合には、ラッチ付近をブローして、堆積した塵埃等を除去してください。 注) 問題が解決されない場合には、販売元にご相談下さい。
4	スィベルジョイントの動きが悪い、又は動かない	内部部品の異常	直ちに使用を中止し、適切なメンテナンスを実施して下さい。 注) メンテナンスについては販売元にご相談下さい。
5	充填中、水素ガスが漏れる	シール部品の異常	直ちに使用を中止し、適切なメンテナンスを実施して下さい。 注) メンテナンスについては販売元にご相談下さい。
6	外観が損傷している	乱暴な取扱い	損傷している部品の種類によって危険度が異なる為、販売元にご相談下さい。 注) 損傷部品のメンテナンスを実施する必要がある場合には販売元にご相談下さい。

上記以外の現象が確認された場合は、直ちに使用を中止し、販売元にご相談下さい。

7. メンテナンスについて

当該製品は、特別な道具・技術を有した者のみがメンテナンスを実施できる機器となっておりますので、ご使用者様での分解・修理はお止め下さい。

「6. トラブルシューティング」にて異常が確認され、メンテナンスが必要となった場合には、適宜メンテナンスを実施してご返却することになりますので、販売元にご相談下さい。メンテナンスには一ヶ月前の申し込み、整備期間として弊社5営業日を要します。

メンテナンス実施の際には製品現品をお預かりすることとなりますので、可能な範囲で予備品をお持ち頂くことを推奨致します。

「2. 製品の仕様」の制限事項にも記載されておりますが、製品に異常が認められない場合であっても、充填回数2万回又は3年の使用の何れか早い段階でシール部品交換を行う「メンテナンス」が必要です。この定期メンテナンスにおいても販売元にご相談下さい。
充填回数2万回又は3年の使用でのメンテナンスはあくまでもWEH社が定める使用上限です。日本特有の環境を考慮し、1～3年での定期的なメンテナンスを推奨いたします。

8. お問い合わせ

製品のお問い合わせは、下記に示す「販売元／株式会社ハマイ」にご連絡下さい。

◆販売元



本社（営業本部）
〒141-8512
東京都品川区西五反田 7-7-7 SGスカイ2 階
TEL 03-3492-6655 FAX 03-3492-6660

◆製造元



独国
WEH GmbH Gas Technology
Josef-Henle-Str. 1
89257 Illertissen, Germany

（記載内容は、予告なく変更することがあります。）